

# リーグ



第6節ではアベックゴールを決めた佐藤（右）と岡村（上）。攻撃の中核を担う存在の2人に期待がかかる（撮影・斉藤卓也）

前期、リーグのCブロックを戦った駒大は6連勝という圧倒的な強さを見せつけた。後期は他ブロックの上位チームが集まるブロックに戦場を移し全国大会出場を目指している。8試合のうち6試合を消化し4勝2敗。残り2試合、絶対に負けられない戦いに彼らは臨む。

## 残り2試合、全勝で全国を目指す！



出場機会を増やしているルーキーの森。持ち味のパスをさらに活かしたい

・本来はCBの森本だが専大戦ではボランチで出場。プレーの幅を広げ、的確なコーチングで守備陣を統率する

### リーグ成績（6節終了時点）

1節・対RKU U-21	3-1
2節・対神大	5-0
3節・対RKU U-20	1-3
4節・対早大	0-1
5節・対専大	2-0
6節・対慶大	3-1

白熱しているリーグも残す所あと2試合と終盤戦を迎えている。駒大は、こゝまで8試合中6試合を終え、4勝2敗。全試合勝利を目指していたチームとしては、決して満足のいく結果ではないだろう。始めの2試合は合計8得点を奪い2連勝を飾り、順調なスタートをきる。しかし続く2試合は、決めるべきところで決めきれず、合計1得点しか奪えず手痛い2連敗を喫した。それでも次の2試合でチームは調子を取り戻し再び2連勝を飾った。2連勝の後に2連敗、そして再び2連勝とチームの調子に波があることが伺える。

そんな中迎える7試合目。相手は現在負けなしで首位に立つ筑波大A。相手にとつて不足はない。ここで負けてしまえばチームが目標としている全国大会への道は厳しくなってしまう。是が非でも勝ちたい試合だ。

現在駒大は2連勝中なので調子は良好と言える。好調なチームにおいて中でも絶対調なのは佐藤。2連敗を喫し嫌なムードが流れる中迎えた5試合目。この日佐藤はこれまでの左サイドとは違いトップ下でのプレーとなった。しかしこの試合で佐藤はいきなり1ゴールを叩き出す。続く6試合目もトップ下で起用され、又しても1ゴールを上げ、現在2試合連続ゴール中だ。また前線で1人体を張っている岡村も3試合ぶりとなるゴールを決め調子を取り戻している。右サイドを自慢の快速で駆け上がり、幾度となく好機を演出する田村も好調を維持。さらにはチームで唯一の全試合フル出場を続けている葛山の存在も忘れてはならない。そして的確な守備とコーチングでチームを鼓舞する森本の調子も悪くはない。このようにチーム自体も2連勝中と波に乗っていて、選手自身の調子も良い状態にある。たとえ相手が首位であろうと決して勝てない相手ではないだろう。全国大会へ向け残り2試合勝たなければならぬ試合が続くが、駒大らしい最後まで諦めないサッカーで全国大会への切符を手にしてほしい。

（中野成博）